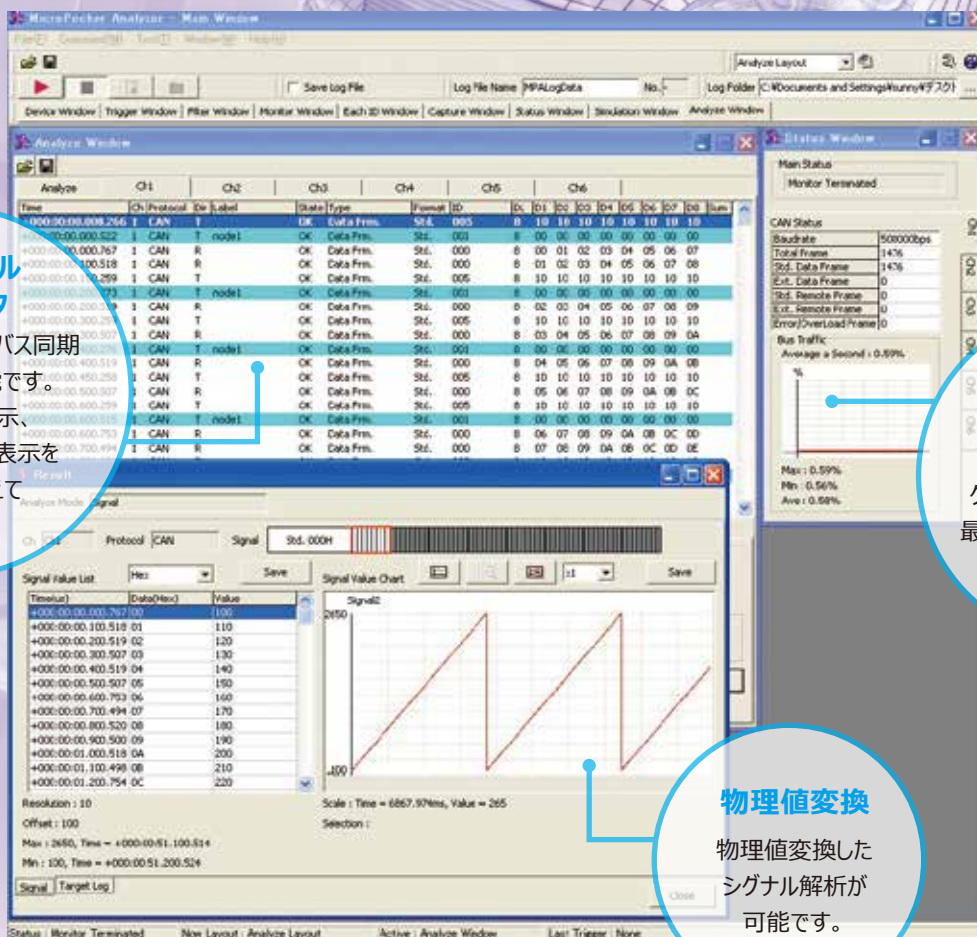


MicroPecker Analyzer

多チャンネル同期モニタリングCAN/LINバスアナライザ



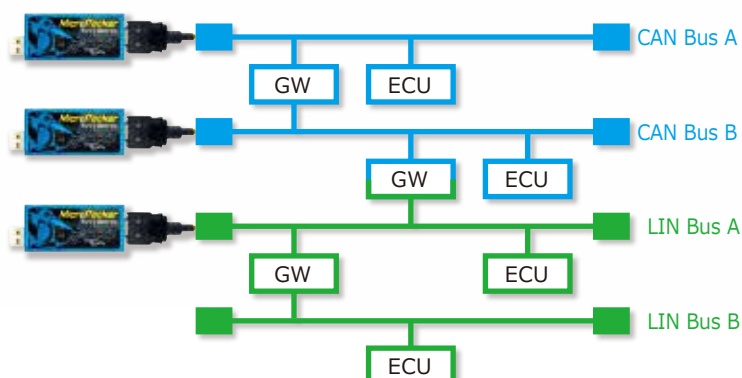
多チャンネルバスモニタ
最大6チャンネルのバス同期モニタリングが可能です。チャンネル別表示、全チャンネルMIX表示をタブで切り替えて表示します。

ステータス、バス負荷表示
CAN/LINバスの負荷をグラフで表示が可能です。最大、最小、平均の状態を表示します。

物理値変換
物理値変換したシグナル解析が可能です。

多チャンネルバスモニタリング機能

- 最大6チャンネルの複数プロトコルを同期させてモニタリングが可能
- モニタログのタイムスタンプはμsec単位で記録が可能
- 開始/停止トリガの設定、フィルタの設定が可能



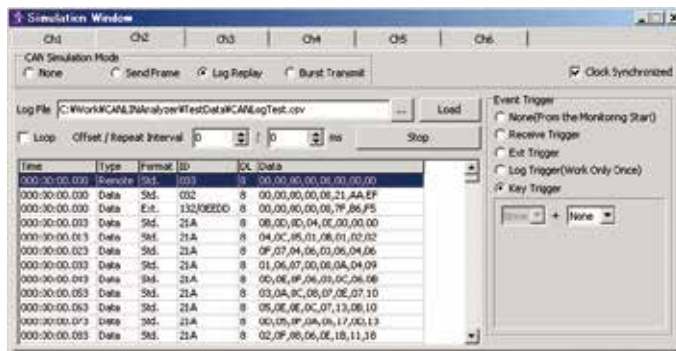
CANバスアナライザ

ノードエミュレーション機能

- シミュレーションフレームを24フレームまで登録可能
- 周期送信、イベント送信、イベント周期送信に対応
- 取得したログの通りにフレーム送信が可能
- マルチチャンネル同期送信が可能
- バス負荷100%の状態を再現できる
バースト転送モードを搭載

ログ解析機能

- 同一IDのフレーム間隔の解析
- 物理値変換したシグナル値の解析
- バス負荷の解析
- ゲートウェイによるメッセージ遅延時間の計測、メッセージ消失検出機能
- ゲートウェイのメッセージ滞留数の解析



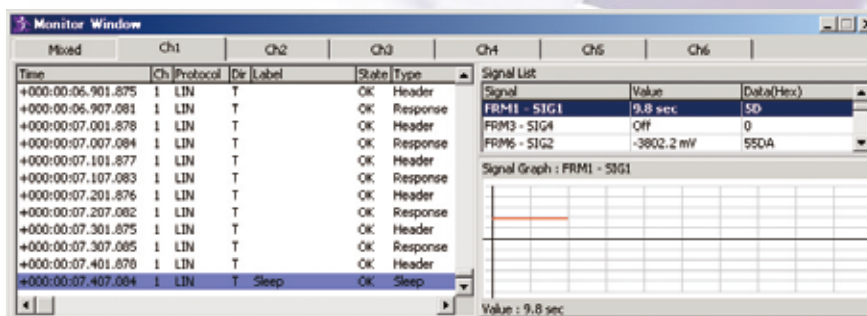
LINバスアナライザ

LIN Revision

- LIN Revision 1.3、2.0、2.1に対応
- LDF読み込みによる設定が可能

ログ解析機能

- 物理値変換したシグナル値の解析
- バス負荷の解析



マスターノードシミュレーション機能

- Wakeupパルス、スリープコマンド、パターンファイルの使用が可能。
- 多彩なエラーシミュレート (SyncBreak、SyncField、Parity、CheckSum、ShortMsg、Framing)
- 割り込み送信設定16フレームまで登録可能
- フレーム受信トリガ、キートリガに対応

スレーブノードシミュレーション機能

- 64フレームまで設定が可能
- パターンファイルの使用が可能
- エラーフレーム送信 (CheckSum、ShortMsg、Framing)
- フレーム受信トリガ、キートリガに対応

CANバスアナライザ・ LINバスアナライザ共通

弊社旧製品からの乗り換えも簡単

弊社製品CANバスアナライザ《S810-C2》、LINバスアナライザ《S810-LAS》のコンフィグレーションファイルのコンバータツールを同梱しています。これまでの資産を生かしてスムーズにMicroPeckerへ移行できます。

MicroPecker Analyzer ラインナップ

製品 ラインナップ

S810-MP-A1 MicroPecker Analyzer
(CANバスアナライザ)

S810-MP-A2 MicroPecker Analyzer
(LINバスアナライザ)